



小諸高校吹奏楽部のねんりんピック・ランチタイムロビーコンサート。圧巻の演奏に世代を超えた感動が会場を埋め尽くしました。

## シニアが支える学びの場

松本市（信州型コミュニティスクール）

シニア大学松本学部の学生の中に島内小学校のボランティアとして活動する方がいらっしゃいました。気軽に学校と関わっている様子を伺うため、地域力を活用しコミュニティスクールを推進する松本市島内小学校を訪ねました。

昇降口を入ると正面の壁には「学習ボランティア」の方々の顔写真が貼られ、ボランティアボードが設置されていました。このボランティアボードには、その日の全クラスの授業でボランティアに入ってほしい授業時間がマグネットで記されています。



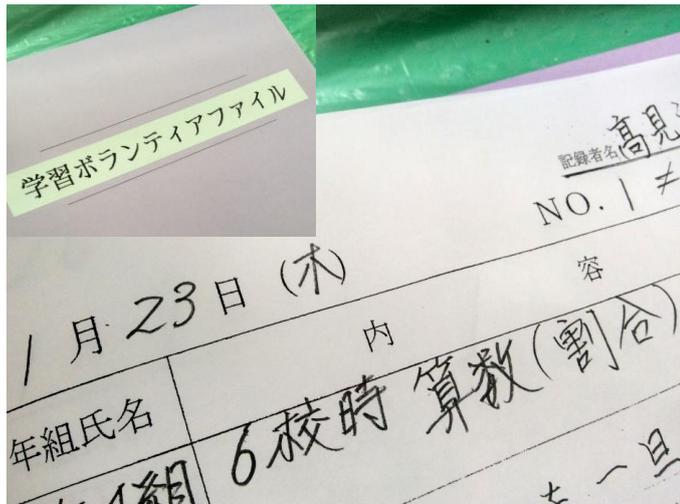
学習ボランティアの皆さんは、活動の曜日や時間に決まりはありません。自分の都合のつく

日や時間に学校へ行き、ボランティアボードの表をみて、「前は一年生だったから今日は高学年のクラスに入ってみようか」「前回のクラスがちょっと気になるから引き続き・・・」といった具合に受け入れが可能な授業の教室に行きます。一方、担任の先生や子どもたちはボランティアの存在を特別気にすることもなく、ボランティアの方々も自然体で子どもたちに接します。

この日、学習ボランティアで活動されていた男性は、ご自身が民生委員だった時、会議で校長先生がコミュニティスクールについて話されたのがそもそもの始まり。その時の仲間に誘われ、子どもについての専門的なことはわからないが、何か役に立つのであればと学校へかかわるようになったとのことでした。子どもたちは男性の足にまとわりついたり、積もる話をたくさん話したがっていました。このような様子を経験するたび、子どもたちが抱える様々な背景が気になり、いろいろなことを考えさせられるそうです。これからは都合がつく限り学校へ足を運びたいとおっしゃっていました。

今回ボランティアの様子を拝見して感じたのは、ボランティアとして特別なことをせずとも、とにかくその場にいること自体が子どもの成長にとって意義があるということでした。子どもたちに寄り添い、育ちを温かく見守る地

域のパートナーとして、より多くの方に子どもたちへ目を向けてほしいと感じました。



ボランティア一人一人が活動記録をつづるファイル。ファイルはボランティア室にあり、活動終了後記録する。

## 信州観光親善大使「アンバサダー」続出中 諏訪湖アートリング検定挑戦／シニア大生＆諏訪賛助会員



午前8時半。さわやかに晴わたった秋分の日、諏訪商工会議所に一番乗りでみえたのは、佐久シニア大学の生徒さん達でした。この日『諏訪湖まちじゅう芸術祭 2014 アートリング検定』に全県下から102名の皆さんが挑みました。シニア世代のライフスタイルの多様化の受け皿のひとつとして、美しい山々に囲まれ、古代の遺跡や諏訪の信仰、戦国時代から近代産業の遺産、温泉と地域資源（お宝）の豊富な諏訪の地で、今回、美術館・博物館を中心に知識見聞を深めて“ずく出し・知恵出し・おもてなし”が必要とされる観光ホスピタリティ（優しい観光地の実現）の現場での出番づくりや居場所発見のき

っかけとなり、参加者の中から信州観光親善大使“アンバサダー”の続出が期待できそうです。

## 新たな布石

### 信州ねんりんピック

シニアの文化芸術・スポーツの祭典、信州ねんりんピックが9月に小諸市で開催されました。今回は地元との交流も深めるため、各方面にご協力いただきました。

グループのステージ発表では、地元小諸高校吹奏楽部の演奏がオープニングを飾り、ステージ発表の締めくくりでは、吹奏楽部の演奏にコカリナ演奏のグループや手話ダンスの方々も加わり会場全体で『ふるさと』を大合唱しました。また、昼食休憩時のロビーコンサートでは、手の届く距離での吹奏楽部の演奏に会場全体が歓喜の声に包まれました。展示コーナーでは、立科町の日帰り農村体験『ほっとステイタてしな』や御代田町のサロン事業、小諸市ボランティアセンターの様子など地元シニアの活動を紹介する一方、小諸養護学校の生徒が制作した陶器製品販売や『おもちゃなおし隊こもろ』の“おもちゃ病院”では玩具の修理やペーパークラフトづくりを子ども連れのご家族が楽しむなど、世代を超えた交流が広がりました。



出演者と会場全員で『ふるさと』の大合唱

（編集・発行）

公益財団法人長野県長寿社会開発センター  
〒380-0928 長野市若里七丁目1番7号長野県社会福祉総合センター5F  
TEL 026-226-3741 / FAX 026-226-8327  
info@nicesenior.or.jp / http://www.nicesenior.or.jp